

平壤出張記

ERINA 調査研究部主任研究員

三村光弘

2017年3月28日～4月4日、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の首都、平壤を訪問した。今回の訪問は朝鮮社会学者協会、朝鮮社会科学院、朝鮮対外貿易仲裁委員会、朝鮮商業会議所などの学術交流やインタビューが主な目的であった。

韓米合同軍事演習のさなかであったが、平壤市内は基本的に穏やかで、4月15日に平壤市民の群衆大会があり、練習のために多くの人が動員され、金日成広場と周辺の勝利通りや玉流橋、大同橋が交通規制で通行止めになる以外は大きな混乱もなかった。

宿泊する予定の高麗ホテルが改装中で利用できなかったため、普通江ホテルに宿泊したが、ホテル近くの安山通りから西城通りに入る交差点では渋滞のため、夕方には左折するために信号を3～4回待たなければならず、10分以上かかるという、これまでの平壤では体験することの少なかつ

た経験もした。

参観は金カップ体育人総合食料工場や柳京眼科総合病院、中央動物園、自然博物館、平壤中等学院、平壤初等学院（親のいない子どもを預かる全寮制の学校。中等学院は初級中学校と高級中学校、初等学院は小学校）を訪れた。

朝鮮社会科学院法律研究所との面談

朝鮮社会科学院法律研究所との面談では、社会主義企業管理責任制の実施にともなう法律の制定や改正の状況を知りたいと事前にリクエストしていたので、その回答を中心に意見交換を行った。

現在、内閣やその下の各省で、行政法規（規定や細則等）に社会主義企業管理責任制の内容を反映させる作業を行っているさなかであり、法律の制定は現在、準備作業にあるとのことであった。法律の改

正については、「仲裁法」（国内の国営企業間での契約に関する紛争を解決する手段としての国内仲裁を規定した法律）が2016年9月21日に最高人民会議常任委員会政令1320号で改正された例があげられた。これまで「計画に基づく契約」が仲裁の対象であったものが「人民経済計画を遂行するための契約」に変更されたため、計画に基づくものであろうと、なかろうと、その目的が人民経済計画遂行のためであれば、仲裁の対象となることが明記されたとのことであった（第6条）。また仲裁廷の構成も1人または3人で構成されるものから、3人へと変更され、客観性、科学性、慎重性をより保障するものとなったとのことであった。民事訴訟法も改正案の初稿が完成し、民法も改正作業が進んでいるとのことであった。

社会科学院経済研究所との面談

社会科学院経済研究所には、国家経済発展5カ年戦略の執行状況について質問を行っておいだったので、それに対する回答が意見交換の主たる内容となった。

説明された内容は、『労働新聞』や『朝鮮中央通信』で報道されている内容とほぼ同じであるため割愛するが、電力、石炭・金属・鉄道運輸、機械・建設・建材工業、農業・畜産・水産、軽工業、国土管理、対外経済関係、国家の経済組織的機能の強化の順で説明が行われた。

朝鮮社会科学院人権問題研究所との面談

朝鮮社会科学院に2017年の初め、人権問題研究所が設置された。人権の尊重は世界的な趨勢であるとの認識の下、

(1) 主体思想に基づく党と政府の人権思想と理論の研究、解説、論証、それに基づいて北朝鮮の人権制度、実像に対する研究・分析、(2) 社会の発展と人民の人権に対する要求に合わせて国の人権制度をよりしっかりと発展させていくための研究、(3) 国際人権法、国際的な人権問題を研究・分析して、最近米国と西側諸国の(北朝鮮の)人権に関する宣伝に対する不当性に対する研究を行うことを主目的としているとのことであった。

国産食品類の増加と販売競争

滞在中、光復通り商業中心やその他の外貨商店、食品店などを訪れたが、国産のパン、菓子、アイスクリーム類の種類が以前にも増して増えていると感じた。最近の傾向としては、パッケージが洗練されてきたことがあげられる。これはおそらく、食

品の生産が増加し、消費者が選択することができる環境が整ってきたことと関連している。日本と同じく、消費者に買ってもらうためには、品質はもとより、包装も見た目を整えなければならないということである。

写真1と写真2は今回の訪問で購入した菓子であるが、どちらも包装が非常によくなってきている。写真1は韓国の菓子の包装に、写真2は日本の有名メーカーの同様の菓子の包装に似ていると感じた。

これまで商品が不足し、生産すれば売れるという時代もあったが、現在では品質だけでなく、包装にも工夫しなければものが売れないようになってきているようである。これだけを見て、北朝鮮経済が質的な変貌を遂げたとは言えないが、これまでの北朝鮮経済に対する見方を少し変える必要があると感じたこと1年ほどの変化であった。

写真1 5/1総合加工工場製のリンゴ味フルーツゼリー



(出所)筆者撮影

写真2 金カップ体育人総合食料工場製の海老味の菓子



(出所)筆者撮影